



Blank writing area with horizontal dotted lines for copying the text.

Blank writing area with vertical lines and horizontal dotted lines for copying the text.

クラス

番号

氏名

見本

天声人語

梅雨の晴れ間に東京の日本橋を歩いて渡った。関ヶ原の合戦の後に架けられ、いま20代目。欄干を飾る麒麟や獅子像に風格が漂う。だが見上げれば、首都高速道の下腹が橋を覆い、せつなくの陽光が届かない▼橋のすぐそばに本店を構える百貨店「三越」(現三越伊勢丹)の元社長、中村胤夫さん(81)は入社時がちょうど首都高の建設中だった。「高速道は戦後復興の象徴でした。心を躍らせて工事を見守ったものです」。建設反対の声を聞くことはなかったという▼だが開通から5年もしないうちに落胆が頭をもたげる。「空が見えない」「橋が台無しになる」。商家の主人たちからも嘆き節が出る。「名橋『日本橋』保存会」が結成され、首都高の移設か撤去を求める活動を始めた。ちょうど半世紀前のことだ▼橋の水洗いや地道な作業を続け、賛同署名を国会に出した。国交省や東京都の態度に変化が現れたのは昨夏のことだ。先月の会議では、日本橋の上を含む1・2号部分を地下にという具体案も出てきた▼とはいえ、見込まれる工費は数千億円。「なぜ日本橋だけ特別扱いを」「介護施設や保育園の拡充を急ぐべきでは」。そんな声を筆者もよく聞く▼むしろ反対論にも十分な理がある。それでも巨大な鉄の蓋に覆われたいまの姿は、衰れを誘う。思えば昭和の一時、この国は街の景観や歴史にあまりに無頓着だった。日本橋を起点にして、全国の街に「風景」を取り戻す。そんな百年の計を立ててもよいのではないか。

2018・6・9

天声人語

Blank writing area with vertical lines and horizontal dotted lines for copying the text.